履　　歴　　書

写真貼付

白衣不可スーツとネクタイ着用、女性は準じた服装

現住所

平成　　年　　月　　日生

学　　歴

職　　歴

現在に至る

免許・資格等

賞罰・処分歴等

※賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和　　年　　月　　日　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　　　　（自署）

（記入例）（フォントサイズ１２Ｐ 数字はすべて全角とすること）

履　　歴　　書

写真貼付

白衣不可スーツとネクタイ着用、女性は準じた服装

現住所　　○○県○○市○○－○○－○○

　　　　(氏名・ふりがなを記入)

平成○○年○○月○○日生

学　　歴

平成○○年○○月○○日　　○○高等学校　卒業

平成○○年○○月○○日　　○○大学医学部医学科　入学

平成○○年○○月○○日　　　同　　上　　　　　　卒業

平成○○年○○月○○日　　○○大学大学院医学系研究科○○専攻博士課程　入学

平成○○年○○月○○日　　　同　　上　　　　　　　　　　　　　　　　　修了

職　　歴

平成○○年○○月○○日　　鳥取大学医学部附属病院　研修医　採用

平成○○年○○月○○日　　　同　　上　　　　　　　　　　　退職

平成○○年○○月○○日　　○○病院　医師　採用

平成○○年○○月○○日　　　同　　上　　　辞職

平成○○年○○月○○日　　鳥取大学医学部附属病院　医員　採用（○○診療科）

現在に至る

免許・資格等

平成○○年○○月○○日　　医籍登録　第○○○○○○○号

平成○○年○○月○○日　　臨床研修修了登録

平成○○年○○月○○日　　博士（医学）（鳥取大学）

平成○○年○○月○○日　　□□学会　認定□□医（第○○○○○○○号）

平成○○年○○月○○日　　○○学会　○○専門医（第○○○○○○○号）

賞罰・処分歴等

平成○○年○○月○○日　　○○学会○○賞　受賞

※賞罰・処分歴等欄には、過去に学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入すること。

本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和○○年○○月○○日　　　　　　　　　氏名　　鳥取　太郎　　　　　　　　（自署）

記入要項

（１）ワードを用いて明朝体にて作成する．

ただし，履歴書を除く見出文字はゴシック体とする．

フォントサイズは履歴書の文字を16ポイントとし，その他すべてを12ポイントとする．

　　　上下左右25mm程度の余白をあける．

（２）生年月日，現住所，氏名及びふりがなをワード入力する．また，写真（本人単身胸から上　縦40mm×横30mm、原則白衣不可，スーツとネクタイ着用，女性は準じた服装が望ましい）を貼付する．（デジタル写真の印刷可，デジタル写真のデータを人事係へ送付するでも可）（自署部分を除き，ワード等で記入する）

（３）学歴の欄には，高校卒業以降の学歴について記入する．

　　※年月日は卒業証書，学位記の日付に合わせてください．（必ずしも3月31日にならない場合があります。）

（４）職歴の欄には，職歴のすべて（３ヶ月以上の外国留学も含む）について記入し，職名もしくは身分を明記する．

※任期の途中に退職する場合は辞職，任期の終了と同時に退職する場合は退職，他機関は全て退職と記入する．

※本学の職歴については「採用」の記載の後ろに下記のように括弧書きで診療科や分野名を記入する．

　（例）鳥取大学医学部附属病院助教採用（第一内科診療科群）

　　　　鳥取大学医学部助教採用（循環器・内分泌代謝内科学分野）

（５）免許等の欄には，医籍登録（登録番号を明記），臨床研修修了登録，博士，学会専門医等の資格を記入する．

（６）賞罰・処分歴等がない場合は，省略せず，「特になし」と記載する．

（７）四角で囲まれた欄は，記入日と氏名を自署する．

※学歴・職歴・免許等・賞罰の欄は年月日の古い順に記入する．（必ず日付まで記入してください）

※応募書類は原則として返却いたしません。応募書類により取得する個人情報は，採用

　者の選考及び採用後の人事・給与・福利関係などの必要な手続きに利用するものであ

　り，この目的以外での利用又は第三者への提供をすることはありません。

**業　績　目　録**

**見　本**

**[著書(英文)]**

1. Toridai T, Horikawa I and Weiss R. M: Progressive telomere shortning and telomerase reactivation during hepatocarciogenesis. Cancer Genet Cytogenet 93: 56-62, 1997

**[著書(和文)]**

1. 山下修司、鳥大太郎、西村幸一：　神経泌尿器科学研究法．日本医学館78-81,1986

**[原著(英文)]**

1. Nishi K, Toridai T, Foster H. E. Jr and Weiss R. M: Effect of experimental diabetes on rat prostate endothelin receptors. Eur. J. Pharmacol. 310: 197-200, 1976
2. Toridai T, Nishi K, Fukumoto Y, Foster H and Weiss R. M: Characterization of endothelin receptors in streptozotocin induced diabetic rat vas deferens. Biochem. Pharmacol. 52:　1593-1598, 1996

**[原著(和文)]**

1. 山崎明人、鳥大太郎：　帯状疱疹に対するインドメタシン・リファンピシンクリー　　ムの臨床応用.　医学と薬学　16：　1155-1159, 1986

**[総説(和文)]**

1. 鳥大太郎、河崎　亮：　過酸化脂質の生成と疾患.　臨床と研究 23:　243-253, 1992

**[症例報告(和文)]**

1. 渡辺　実、鳥大太郎：　胸腹水を伴う肝硬変症例の3例.　肝臓と臨床　8：　111-124, 1998

**[学会発表(国内学会)]**

1. 鳥大太郎、佐々木睦美

「Free Radical研究の最近の進歩」シンポジウム　活性酸素によるアポトーシス

第23回フリーラジカル会議、米子、1987

他○件

**[学会発表(国際学会)]**

1. Sakai M, Toridai T, Wada, Y

Predictor of the development of atrial fibrillation in patients with sinus node dysfunction

2002 Scientific Sessions of American Heart Association, Chicago USA, 2003

他○件

**[競争的資金]**

1. 科学研究費補助金「基盤研究(C)」,H20-21,代表,「活性酸素によるアポトーシス誘導機構」,総額4,950千円

業 績 目 録 記 入 要 領

業績目録見本を参考にして、次の７項目に分類し、次のように分類し、年代順（最新のものが最後）に記入して下さい。

なお、各分類中でさらに英文・和文に分けて記載して下さい。

該当がない項目は、省略して下さい。

（１～５及び７についてはすべての論文等を記載して下さい。）

１．〔著　書〕すべて記載

２．〔原　著〕すべて記載

３．〔総　説〕すべて記載

４．〔症例報告〕すべて記載

５．〔その他〕すべて記載

６．〔学会発表〕

　　（国内学会）主要な３件程度を記載、その他は「他○○件（又は点）」と記載

　　（国際学会）　（同　上）

７．〔競争的資金の獲得状況〕すべて記載

1. 著者名・共著者名は全員の氏名を記し、本人名にアンダーラインを引くこと。

本人がコレスポンディングオーサーの場合は、本人名に二重線のアンダーラインを引くこと。

本人が、筆頭著者が複数名となるequally contributed authorの場合は、本人名にアンダーラインを引き、本人名の後にカッコ書きで（equal contribution）と記載すること。

（注２）氏名のアルファベット表記に際しての表記例：

「Toridai T, Horikawa I，」又は「T Toridai, I Horikawa,」のいずれも可。

ただし、どちらかに統一すること。

（注３）博士学位論文は、番号を○で囲むこと。

（注４）競争的資金については、代表・分担の別も記載すること